



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月2日

上場取引所 東

上場会社名 内海造船株式会社

コード番号 7018 URL <http://www.naikaizosen.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 弘行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 原 耕作

TEL 0845-27-2111

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	19,044	29.7	100	—	92	—	99	—
26年3月期第3四半期	14,677	△34.0	△1,761	—	△1,684	—	△1,599	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 383百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 △1,489百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年3月期第3四半期	5.87	—
26年3月期第3四半期	△94.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
27年3月期第3四半期	31,374	6,839	21.8	403.31
26年3月期	31,438	6,377	20.3	376.05

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 6,839百万円 26年3月期 6,377百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年3月期	—	—	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	25,000	12.0	200	—	100	—	100	—	5.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	22,530,000 株	26年3月期	22,530,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	5,572,714 株	26年3月期	5,571,813 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	16,957,801 株	26年3月期3Q	16,958,504 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の成長戦略や日銀の金融政策を背景に株高・円安が進んだことにより、輸出産業を中心に企業収益が好転に向かい、雇用・所得環境の改善などにも支えられ、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、海外経済においては、米国は回復傾向にあるものの、中国経済の成長ペースの鈍化、中東地域における地政学的リスクにより先行き不透明な状況が続きました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、新造船工事において、前年同四半期と比べ売上対象船が5隻増加(9隻→14隻)したことにより、売上高は190億44百万円(前年同四半期比29.7%増)、営業利益は1億円(前年同四半期は営業損失17億61百万円)、経常利益は92百万円(前年同四半期は経常損失16億84百万円)、四半期純利益は99百万円(前年同四半期は四半期純損失15億99百万円)となり前年同四半期と比べ増収増益となりました。

セグメント業績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
	船舶事業				
売上高	18,636	664	19,301	△257	19,044
セグメント利益	701	0	701	△601	100

(注) セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門の費用であります。

①船舶事業

新造船工事につきましては、円高状況の改善は進んでいるものの、未だ世界的な船腹過剰状態は、解消されておらず、船価の本格的な回復には至りませんでした。さらに、資機材・外注等の価格は高止まりの状況にあり、国内外の造船所との厳しい受注競争が強いられました。

改修船工事につきましても、海運業界における市況の低迷で修繕費用が抑制される等、受注・採算面とも厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループが開発した「3万8,000重量トン多目的貨物船(38GC)」は、海運市場から、燃費性能・積載能力の面で高い評価を頂き、当社グループの主力商品として積極的に受注活動を行ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の船舶事業全体の業績につきましては、売上高186億36百万円(前年同四半期比30.0%増)、セグメント利益7億1百万円(前年同四半期はセグメント損失11億69百万円)となりました。受注につきましては、貨物船、自動車運搬船、RORO船6隻他で284億35百万円を受注し、受注残高は、新造船18隻他で518億28百万円(前年同四半期比18.6%増)となりました。

②その他

陸上・サービス事業につきましては、公共・民間設備投資は、緩やかに持ち直しているものの、地域経済への景気波及の遅れなどにより、依然として低水準で推移し厳しい経営環境が続きました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高6億64百万円(前年同四半期比30.7%増)、セグメント利益0百万円(前年同四半期はセグメント損失10百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(連結財政状態)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)	増減
総資産	31,438	31,374	△64
負債	25,061	24,535	△526
純資産	6,377	6,839	461

総資産は、前連結会計年度末の314億38百万円から64百万円減少し、313億74百万円となりました。これは主に、現金及び預金が増加したものの受取手形及び売掛金の減少等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末の250億61百万円から5億26百万円減少し、245億35百万円となりました。これは主に、前受金が増加したものの工事損失引当金、支払手形及び買掛金の減少等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末の63億77百万円から4億61百万円増加し、68億39百万円となりました。これは主に、利益剰余金とその他有価証券評価差額金の増加などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成26年5月9日に公表いたしました業績予想の数値からは変更ありません。

なお、今後の業績に変動を与える事象が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る資産が42百万円増加、負債が51百万円減少し、利益剰余金が78百万円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,826	8,161
受取手形及び売掛金	10,628	9,535
商品	2	1
仕掛品	369	558
原材料及び貯蔵品	121	120
その他	1,050	580
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	18,992	18,952
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,429	2,347
構築物(純額)	1,192	1,127
機械装置及び運搬具(純額)	1,601	1,415
土地	4,601	4,601
その他(純額)	400	416
有形固定資産合計	10,225	9,908
無形固定資産		
その他	94	73
無形固定資産合計	94	73
投資その他の資産		
投資有価証券	2,072	2,349
退職給付に係る資産	26	62
その他	113	113
貸倒引当金	△85	△85
投資その他の資産合計	2,127	2,440
固定資産合計	12,446	12,422
資産合計	31,438	31,374

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,108	6,815
短期借入金	3,955	3,753
未払費用	852	855
未払法人税等	0	13
前受金	1,708	3,470
賞与引当金	113	—
工事損失引当金	2,573	1,106
その他の引当金	158	304
その他	198	234
流動負債合計	17,668	16,554
固定負債		
長期借入金	4,323	4,846
再評価に係る繰延税金負債	930	930
退職給付に係る負債	1,610	1,625
資産除去債務	65	65
その他	462	512
固定負債合計	7,392	7,980
負債合計	25,061	24,535
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,200	1,200
資本剰余金	672	672
利益剰余金	5,111	5,289
自己株式	△2,015	△2,016
株主資本合計	4,967	5,145
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	235	419
土地再評価差額金	1,456	1,456
退職給付に係る調整累計額	△282	△181
繰延ヘッジ損益	—	△1
その他の包括利益累計額合計	1,409	1,693
純資産合計	6,377	6,839
負債純資産合計	31,438	31,374

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	14,677	19,044
売上原価	15,658	18,144
売上総利益又は売上総損失(△)	△980	899
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	225	192
その他	555	607
販売費及び一般管理費合計	781	799
営業利益又は営業損失(△)	△1,761	100
営業外収益		
受取配当金	24	11
還付加算金	44	0
為替差益	33	92
雇用調整助成金	67	—
その他	16	18
営業外収益合計	186	122
営業外費用		
支払利息	85	82
支払保証料	14	32
その他	9	15
営業外費用合計	109	130
経常利益又は経常損失(△)	△1,684	92
特別利益		
固定資産売却益	2	0
特別利益合計	2	0
特別損失		
固定資産除却損	3	1
特別損失合計	3	1
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,685	92
法人税、住民税及び事業税	14	11
法人税等調整額	△100	△19
法人税等合計	△85	△7
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,599	99
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,599	99

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△1,599	99
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	109	184
退職給付に係る調整額	—	101
繰延ヘッジ損益	—	△1
その他の包括利益合計	109	284
四半期包括利益	△1,489	383
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,489	383
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。